

佐世保市内の土木遺産めぐり [11/23(祝)]

テーマ：佐世保市内に残る巨大土木遺産をめぐる

鎮守府や海軍工廠の置かれた佐世保には、旧日本海軍によって建設された巨大な土木遺産や近代化遺産が残されています。そこで今回のツアーでは、戦後復興のなかで架橋された西海橋も含め、それら巨大な土木遺産をめぐり、その圧倒的な存在感を感じるとともに、巨大な構造物の建設を可能にした技術に触れました。

佐世保駅

↓バス

1. 針尾無線施設



針尾無線施設
旧日本海軍によって建設された無線施設で、残っている3基の無線塔、送信所局舎、油庫のことなど。

↓バス

2. 西海橋



西海橋
建設当時は、東洋一、世界第三位の規模を誇り、日本の長大橋建設の原点となったことなど。

↓バス

昼食

↓バス

3. 旧鎮守府・海軍工廠施設（佐世保重工構内）



旧鎮守府・海軍工廠施設
旧海軍工廠時代に建設、設置があり、今なお現存する多くの構造物（赤煉瓦倉庫群、第6船渠、立神係船池、250tクレーン等）や、耐海水コンクリートの技術開発のことなど。

↓バス

4. 山の田水道施設



山の田水道施設
佐世保軍水道第二次拡張事業にあわせて建設された水道施設で、当時の土堰堤および第一濾過池、濾過砂倉庫が残っていることなど。

↓バス



佐世保駅